

パワーエックス、オフサイト太陽光と蓄電池で電力販売開始

太陽光発電とエネルギーの未来を考える

# PVeye

2023  
Vol. 141

12

December

定価 1,980 円

## 低位安定市場に光明 住宅再エネ リバイバル

解説！水上太陽光開発のいま

ブルースカイソーラー

# 太陽光発電所開発を加速 リパワリングで実績着々

## 太

陽光発電所開発のブルースカイソーラーが、非FIT、太陽光発電所の開発に本腰を入れた。大手金融機関や協力会社と連携し、2025年までに年間100MWの開発を目指す。

同社の前身は、2009年に設立された中国資本のスカイソーラーージャパンである。スカイソーラーージャパンは太陽光発電所の開発や保有・運用事業を展開してきたが、22年に国内資本に移行し、23年には同一資本のO&M（管理・保守）会社、新エネルギーサポーターサービスに開発事業を集約することとなり、社名を変更、ブルースカイソーラーとして再始動した。

同社はFITを活用した特別高圧・高圧太陽光発電所を中心に280MWを超える開発実績を有し、そのうち157MWをグループで所有している。近年はFIT単価の減額とともに企業や自治体が脱炭素化を目

指すなか、同社は、非FITの太陽光発電所開発に乗り出していた。すでに大阪ガスと太陽光発電所の共同開発・保有で合意し、23年2月末までに10カ所計8MWの非FIT太陽光発電所を稼働させている。

羽田野修平取締役は、「再生可能エネルギー電力の需要は大きい」とし、大阪ガスと協業する傍ら、他の電力小売り会社や再生電力を使う一般企業との取引も拡げる方針を示した。

むしろ、再生電力の引受先であるオフテイカーからは再生エネの数量を求められる。それだけに、同社は大手金融機関とも連携し、規模を追求していく。低圧太陽光発電所まで領域を拡

げ、開発業者やEPC（設計・調達・建設）企業との協業にも意欲的だ。

同社執行役員の上原美樹開発部門部門長は、「すでに十数社と協業しているが、低圧太陽光発電所に限らず、特別高圧・高圧太陽光発電所を含め、地域の再生エネ会社との連携を拡げていきたい」と語る。

### リパワリングで 発電3割増

同社は、太陽光発電所の新規開発だけでなく、稼働済みのFIT太陽光発電所を購入し、売電単価の高い発電所に対してはリパワリング（改修による出力増）

工事を行う。これまでに47カ所約62MWの太陽光発電所でリパワリング工事を完了しており、「24年には110カ所120MWまで増える見込みだ」（羽田野取締役）。



ブルースカイソーラーは発電所の新規開発だけでなく、リパワリングにも積極的に取り組む

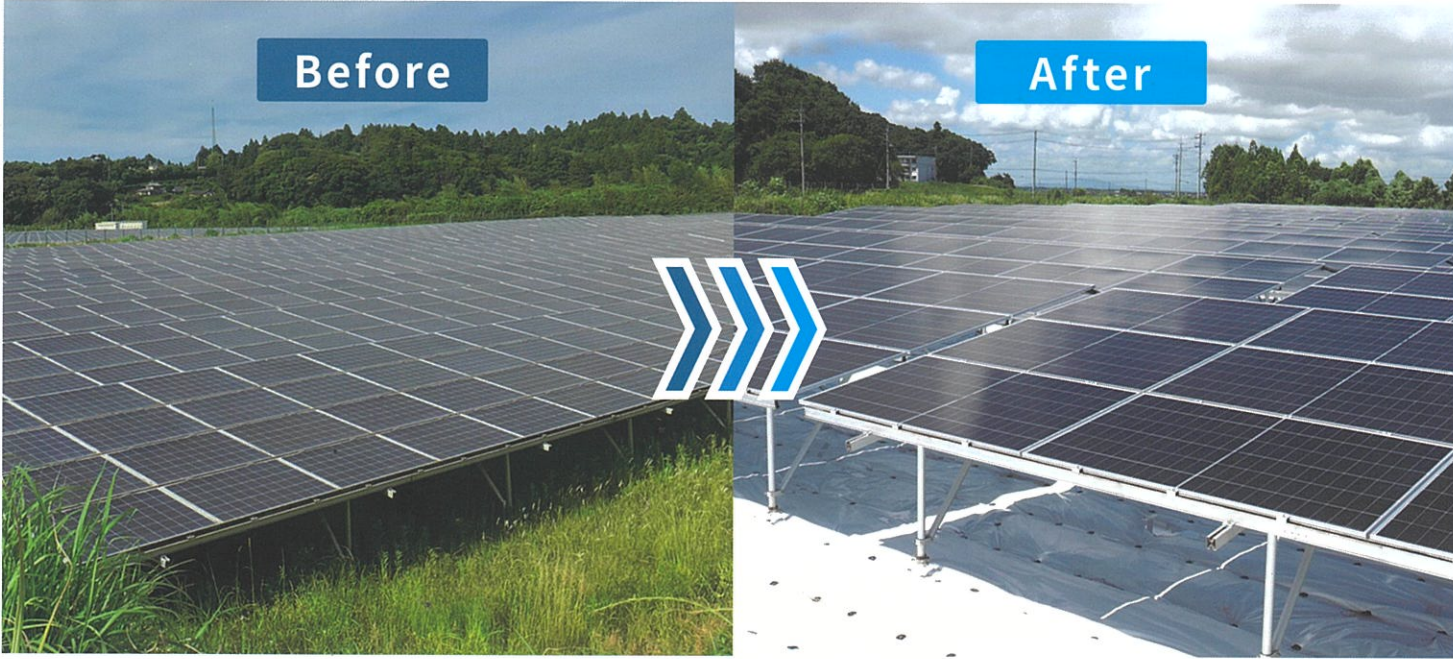
射シートを敷設して太陽光パネルを片面発電タイプから両面発電タイプに取り換え、パワーコンディショナを集中型から分散型に交換するといったもの。実際に効果が出ているようで、茨城県内のある高圧太陽光発電所では発電量が前年同月比で約3割向上したという。

羽田野取締役は、「我々の強みは、開発からO&M、資産管理、リパワリングまで一貫通費で対応できるところだ。開発規模の拡大とともにO&M体制も拡充していく」とし、「25年を中途に年間100MWの開発を目指したい」と意気込んでいる。

# リパワーリングといえばブルースカイソーラー

Before

After



- ☑ 古くなった発電所をリパワーリングすることで発電量が**1.3倍**に  
(当社発電所実績)
- ☑ 反射性の高い防草シートによる防草効果で**O&M費も削減**

古い太陽光発電所をお持ちの場合は  
ブルースカイソーラーへご相談ください!

## リパワーリング実績

総実績件数

2023年時点

**100**件  
以上

パネル実績ベース

2023年時点

**115**  
超え  
(1年間)  
MW



イメージキャラクター  
雪平 莉左



## ブルースカイソーラー株式会社

〒105-7108 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター8F

BLUE SKY SOLAR HP : <https://www.blueskysolar.co.jp/> メール : [info@blueskysolar.co.jp](mailto:info@blueskysolar.co.jp)

雑誌80109-11



4910801091137  
01800

定価 1,980円 本体 1,800円+税